



みどり市

令和2年度

市政報告会

～みどり市創生を目指して～

目次

- ▶ 1. みどり市の現状について
- ▶ 2. 市長公約のこれまでの主な取り組み
- ▶ 3. コロナの対応及びコロナ禍における
「新しい生活様式」への対応

1. みどり市の現状について

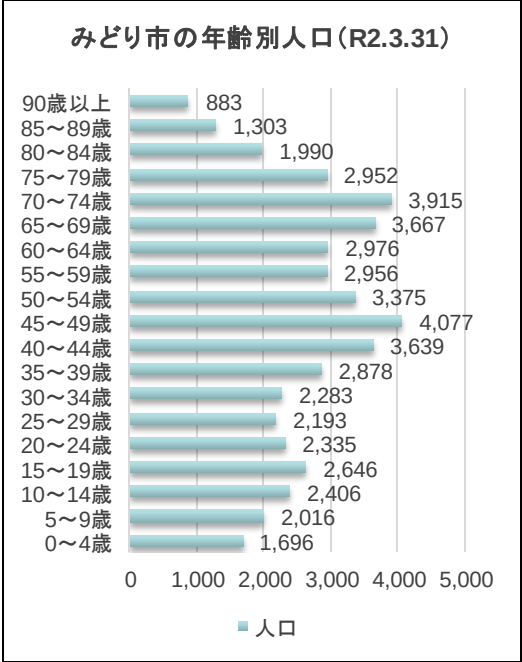
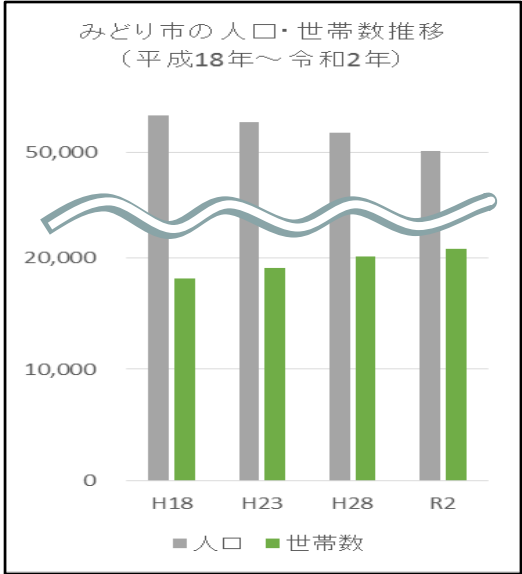
①. 人口と世帯の推移について

◎合併から現在までの人口と世帯数の推移

【出典：住民基本台帳】

年月日	人口(人)				世帯数(世帯)	
	男	女	合計	(参考)群馬県	世帯数	(参考)群馬県
平成18年 3月31日	26,288	27,045	53,333	2,020,037 (※外国人を除く)	18,218	737,189 (※外国人を除く)
平成23年 3月31日	26,013	26,729	52,742	1,998,558 (※外国人を除く)	19,149	772,913 (※外国人を除く)
平成28年 3月31日	25,541	26,232	51,773	2,001,055	20,138	825,673
令和2年 3月31日	24,881	25,305	50,186	1,963,992	20,831	857,476
平成18年と 令和2年の差	-1,407	-1,740	-3,147 (-5.90%)	-56,045 (-2.77%)	2,613 (14.34%)	120,287 (16.32%)

- 【みどり市の人口】
平成18年 53,333人 → 令和2年 50,186人
3,147人の減少(減少率5.90%)
※人口減少については全国的傾向(要因)少子化の進行が主要因と推測
- 【みどり市の世帯数】
平成18年 18,218世帯 → 令和2年 20,831世帯
2,613世帯の増加(増加率14.34%)
※世帯数増加についても全国的傾向(要因)核家族化の進行が主要因と推測
- 【みどり市の令和2年3月末現在の人口】
15歳未満の年少人口 6,118人(12.19%)
15歳以上65歳未満の生産年齢人口 29,358人(58.50%)
65歳以上の老年人口 14,710人(29.31%)
※少子・高齢化の進行がうかがえる

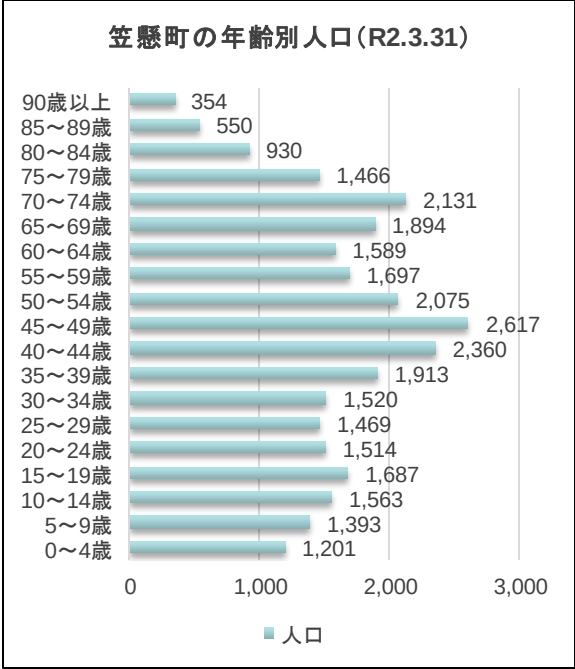
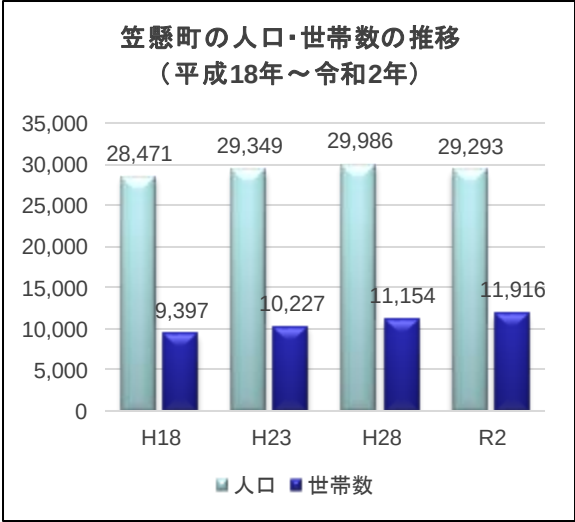


②. 笠懸町の人口と世帯の推移

◎合併から現在までの人口と世帯数の推移

【出典：住民基本台帳】

年月日	人口(人)				世帯数(世帯)	
	男	女	合計	(参考) みどり市	世帯数	(参考) みどり市
平成18年 3月31日	14,146	14,325	28,471	53,333	9,397	18,218
平成23年 3月31日	14,647	14,702	29,349	52,742	10,227	19,149
平成28年 3月31日	14,920	15,066	29,986	51,773	11,154	20,138
令和2年 3月31日	14,954	14,969	29,923	50,186	11,916	20,831
平成18年と 令和2年の差	808	644	1,452 (5.10%)	-3,147 (-5.90%)	2,519 (26.81%)	2,613 (14.34%)



【笠懸町の人口】

平成18年 28,471人 → 令和2年 29,923人
1,452人の増加(増加率5.10%)
※みどり市において、唯一人口が増加

【笠懸町の世帯数】

平成18年 9,397世帯 → 令和2年 11,916世帯
2,519世帯の増加(増加率26.81%)
※核家族世帯の増加

【笠懸町の令和2年3月末現在の人口】

15歳未満の年少人口 4,157人(13.89%)
15歳以上65歳未満の生産年齢人口 18,441人(61.63%)
65歳以上の老年人口 7,325人(24.48%)
※生産年齢人口・年少人口が高い傾向

②. 大間々町の人口と世帯の推移

◎ 合併から現在までの人口と世帯数の推移

【出典：住民基本台帳】

年月日	人口(人)				世帯数(世帯)	
	男	女	合計	(参考) みどり市	世帯数	(参考) みどり市
平成18年 3月31日	10,642	11,099	21,741	53,333	7,751	18,218
平成23年 3月31日	10,125	10,596	20,721	52,742	7,889	19,149
平成28年 3月31日	9,596	9,994	19,590	51,773	8,032	20,138
令和2年 3月31日	9,070	9,359	18,429	50,186	8,023	20,831
平成18年と 令和2年の差	-1,572	-1,740	-3,312 (-15.23%)	-3,147 (-5.90%)	272 (3.51%)	2,613 (14.34%)

【大間々町の人口】

平成18年 21,741人 → 令和2年 18,429人
3,312人の減少（減少率15.23%）
※大間々町は一部を除く全地域で人口減少

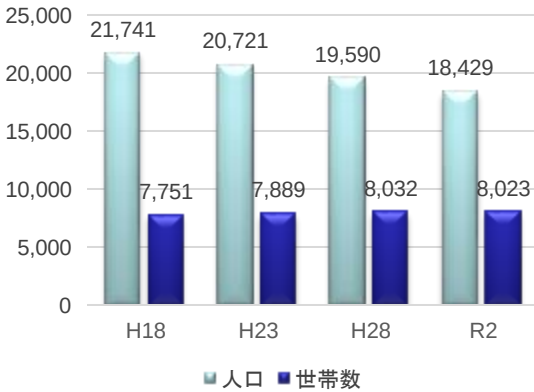
【大間々町の世帯数】

平成18年 7,751世帯 → 令和2年 8,023世帯
272世帯の増加（増加率3.51%）
※核家族化の傾向

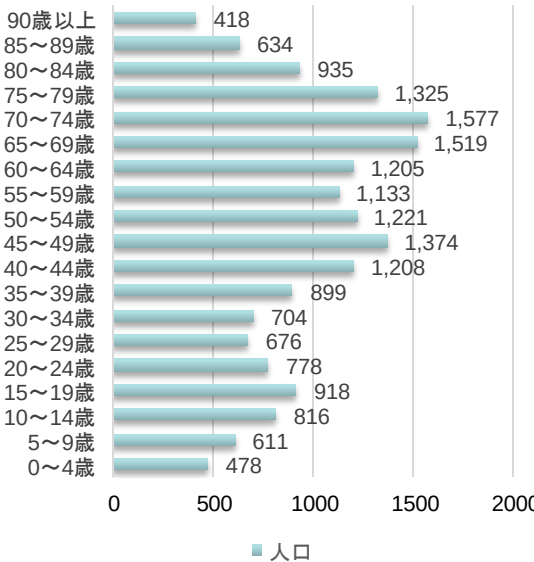
【大間々町の令和2年3月末現在の人口】

15歳未満の年少人口 1,905人（10.34%）
15歳以上65歳未満の生産年齢人口 10,116人（54.89%）
65歳以上の老年人口 6,408人（34.77%）
※年少人口が低く、老年人口が高い傾向

大間々町の人口と世帯数の推移
（平成18年～令和2年）



大間々町の年齢別人口（R2.3.31）

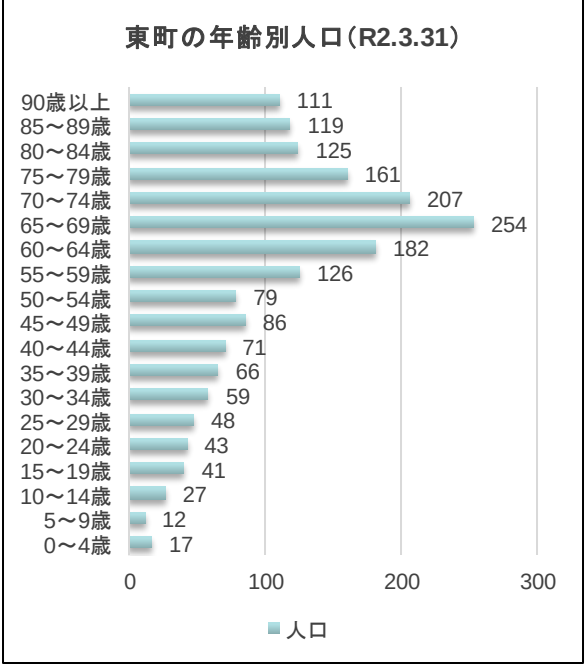
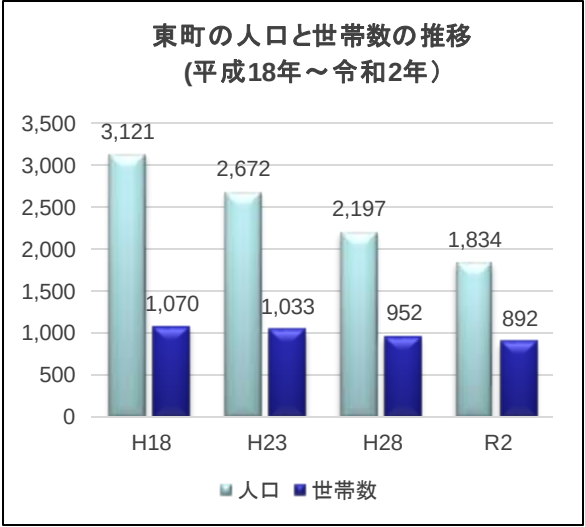


②. 東町の人口と世帯の推移

◎合併から現在までの人口と世帯数の推移

【出典：住民基本台帳】

年月日	人口(人)				世帯数(世帯)	
	男	女	合計	(参考) みどり市	世帯数	(参考) みどり市
平成18年 3月31日	1,500	1,621	3,121	53,333	1,070	18,218
平成23年 3月31日	1,241	1,431	2,672	52,742	1,033	19,149
平成28年 3月31日	1,025	1,172	2,197	51,773	952	20,138
令和2年 3月31日	857	977	1,834	50,186	892	20,831
平成18年と 令和2年の差	-643	-644	-1,287 (-41.24%)	-3,147 (-5.90%)	-178 (-16.64%)	2,613 (14.34%)



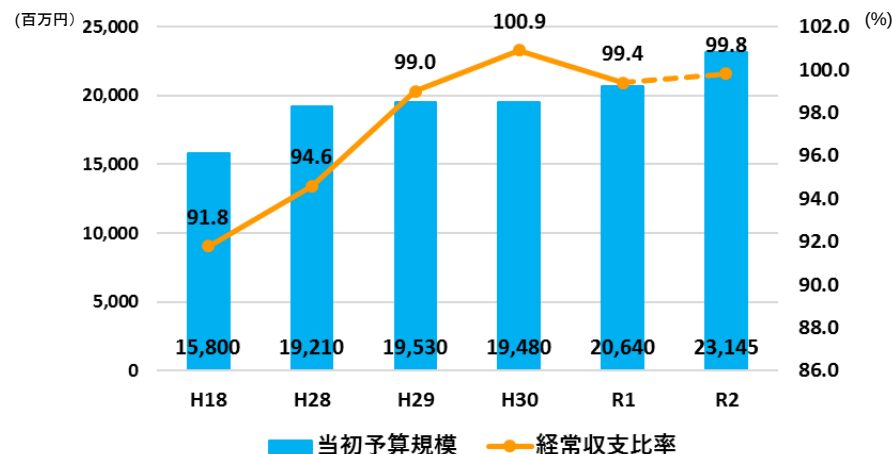
【東町の人口】
平成18年 3,121人 → 令和2年 1,834人
1,287人の減少(減少率41.24%)
※群馬県、みどり市の笠懸町、大間々町と比較して、著しい人口減少

【東町の世帯数】
平成18年 1,070世帯 → 令和2年 892世帯
178世帯の減少(減少率16.64%)
※高齢化が進み、特に単身高齢者世帯の割合が高い

【東町の令和2年3月末現在の人口】
15歳未満の年少人口 56人(3.05%)
15歳以上65歳未満の生産年齢人口 801人(43.68%)
65歳以上の老年人口 977人(53.27%)
※高齢化が進行

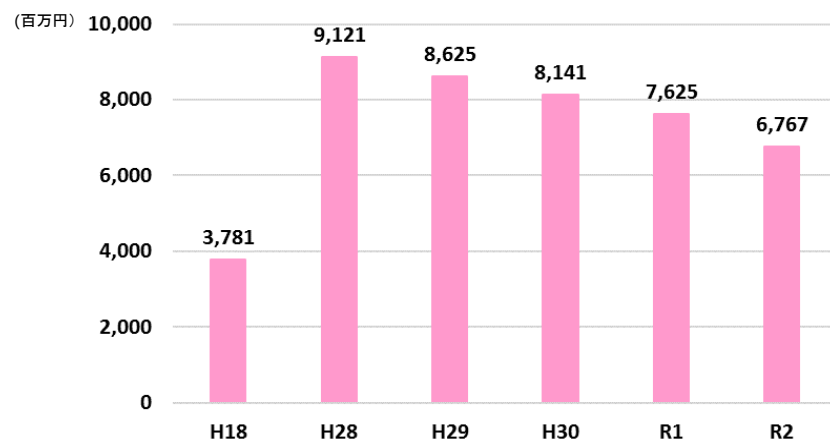
② 財政状況について

1. 当初予算規模(一般会計)と経常収支比率



経常収支比率の改善のため、行財政改革に取り組んでおり、令和2年度の数値目標を99.8%に設定しています。

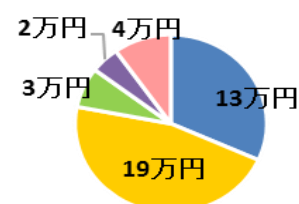
3. 財政調整基金(市の貯金)の残高



令和元年度末時点における、市民1人あたりの財政調整基金残高… 15万1,935円

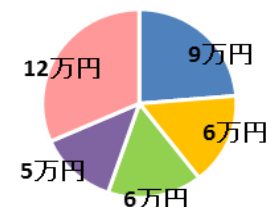
2. 令和元年度の収支状況を家計に例えると…

収入(合計41万円)



- 給料(市税)
- 親からの仕送り(交付税など)
- ローンの借入(市債)
- 貯金の取崩し(繰入金)
- その他(使用料など)

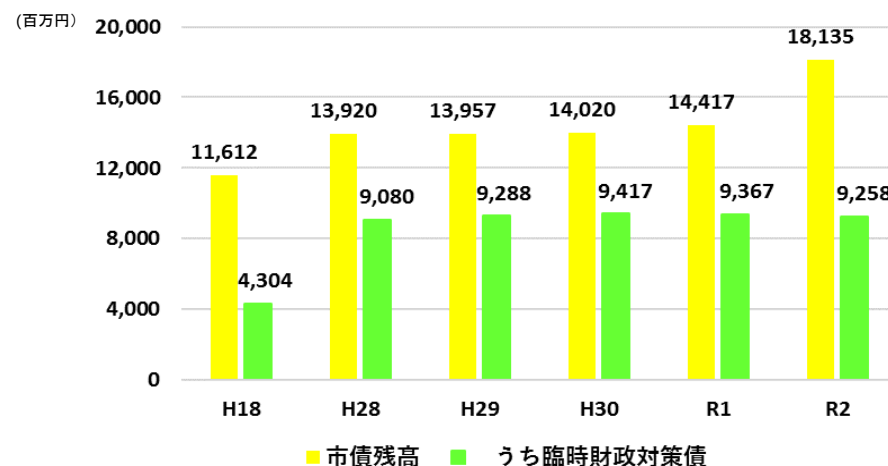
支出(合計38万円)



- 教育費・医療費(扶助費)
- 光熱水費等(物件費)
- 食費(人件費)
- 家や車の購入(投資的経費)
- その他(補助費など)

※歳入歳出決算額を、それぞれ令和2年3月末の住民基本台帳人口(50,186人)で計算したもの

4. 市債(市の借金)の残高(一般会計)



令和元年度末時点における、市民1人あたりの市債残高… 28万7,275円

2. 市長公約のこれまでの主な 取り組み

【公約1】

いきいき・みどり市・活力創生！

①. 定住・交流人口の拡大で活力(移住定住の促進)

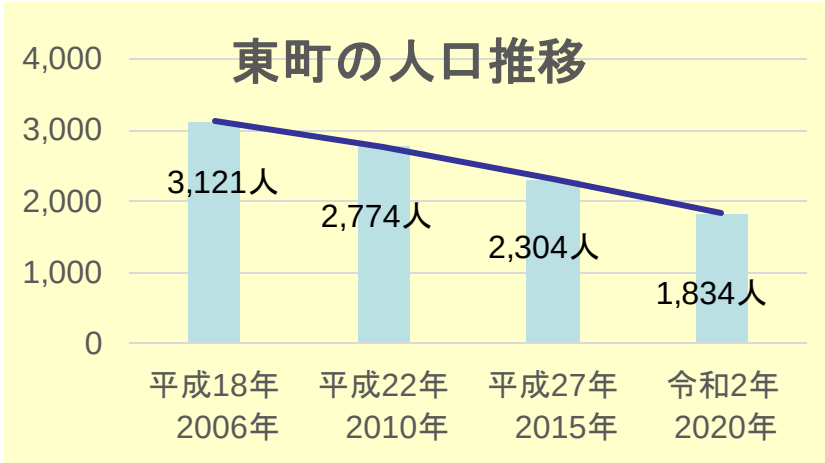
◎地域おこし協力隊事業

課題

人口減少が著しい**東町**で地域産業の
担い手不足が深刻な状態



移住定住を促進するための具体的取組みとして
地域おこし協力隊を活用



進捗状況・R3予定

	H28	H29	H30	H31	R2	R3
隊員着任数	1	2	3	6	4	5
隊員数累計	1	3	6	12	16	21
任期満了者数			1	2	0	3

隊員の主な活動内容

- 観光 2名 地域づくり活動への支援、情報発信
- 林業 3名 林業技術の習得、市有林での実習
- 木工 2名 新商品開発、イベントの開催
- 農業 5名 養蜂、小麦・パン作り、酒米、干しイモづくり



取り組みの成果

- 隊員や家族を含め19人が東町に移住
- 任期満了後に東町に3名が定住(1名は帰郷)
- 地域のお祭りやイベント、伝統行事などに積極的に参加
- 地元消防団に入団(3人)
- 空き家や遊休農地の解消
(空き家の借入:6名、圃場の借入:15カ所)

今後の取り組み

R3年任期満了後 隊員累計21名 定住者5名
みどり市全域での活用の検討

①. 定住・交流人口の拡大で活力(移住定住の促進)

◎空き家対策

空き家の状況			平成30年3月現在、空き家件数325件	
調査地区	調査件数	空き家の可能性物件	居住・使用の確認物件	その他 (調査不可・物件無し等)
笠懸町	1,264	136	1,037	91
大間々町	896	170	675	51
東 町	36	19	15	2
合 計	2,196	325	1,727	144

(平成29年度みどり市空家等実態調査より)

取組の成果

- ・ 市ホームページの「空き家バンク」による紹介 → これまで9件の成約 (笠懸町内5件、大間々町内4件)
- ・ 相談窓口一本化による利便性と体制の強化 → 住宅政策係を建設課に新設 (平成31年度)
- ・ 管理不全な空家発生等の未然防止 → 空き家対策条例の施行 (令和2年7月)

今後の展開

- ・ 360° カメラ映像を使った、空き家情報のバーチャル発信
- ・ ダイレクトメールでの空き家バンク登録斡旋
- ・ 多様なニーズに対応した、新たな居住・定住の施策検討
- ・ 専門家や業界団体との連携検討



(バーチャル空き家バンクの事例／徳島県那賀町)

【公約2】

安全・安心を守る、地域力の創生！

①. 災害に強いみどり市

◎防災減災対策(笠懸・大間々ver)

1. 市民への迅速な災害情報の伝達

【情報伝達システム整備】

- ・屋外拡声スピーカー 設置(36局)
- ・戸別受信機(※対象者へ無償貸与)
- ・防災アプリ
- ・防災メール
- ・電話自動応答装置



屋外拡声スピーカー

【雨量観測システム】

- ・市内6箇所に設置

2. 自主防災組織の育成支援

【自主防災組織設立状況】

市内34地区中31地区で設立
(組織率83.6% R2.12.1現在)

【育成支援】

育成補助金を活用した防災資機材
の整備や防災訓練を実施



防災訓練の様子

3. 避難所の環境整備及び民間事業者の協力体制

【拠点避難所への空調設備、非常用発電整備】

- ・笠懸町 : みどり市民体育館
- ・大間々町: 大間々東中学校体育館
- ・東 町 : あずま小学校体育館



避難所運営シミュレーションの様子

【民間事業者の協力、協定締結】

- ・桐生競艇場駐車場を車中泊等の避難場所として活用
- ・電気自動車を活用した停電時の非常用電源の確保
- ・広範囲の長時間停電発生時の早期復旧、電源車の配備
- ・避難所で活用する段ボールベッド等の優先供給 など

○現在の災害協定締結数 39協定

今後の取り組み

- ・自主防災組織の設立及び育成支援
(目標:全地区に自主防災組織を設立)
- ・自主防災組織と連携した避難訓練の実施
- ・拠点避難所の環境整備

①. 災害に強いみどり市

◎防災減災対策(東ver)

1.市民への迅速な災害情報の伝達

【情報伝達システム整備】

- ・屋外拡声スピーカー 設置(36局)
- ・戸別受信機(※対象者へ無償貸与)
- ・防災アプリ
- ・防災メール
- ・電話自動応答装置



屋外拡声スピーカー

【雨量観測システム】

- ・市内6箇所に設置

2.消防力の強化

【機能別消防団員制度の導入】

町外での勤務者が多く、平日昼間の火災に対する初期消火活動が行えるよう東町に導入。(現在、23名が活動)

【自主防災組織設立状況】

市内34地区中31地区で設立
(組織率83.6% R2.12.1現在)



防災訓練の様子

3.避難所の環境整備及び民間事業者の協力体制

【拠点避難所への空調設備、非常用発電整備】

- ・笠懸町 : みどり市民体育館
- ・大間々町: 大間々東中学校体育館
- ・東 町 : あずま小学校体育館

【民間事業者の協力、協定締結】

- ・桐生競艇場駐車場を車中泊等の避難場所として活用
 - ・電気自動車を活用した停電時の非常用電源の確保
 - ・広範囲の長時間停電発生時の早期復旧、電源車の配備
 - ・避難所で活用する段ボールベッド等の優先供給 など
- 現在の協定締結数 39協定



避難所運営シミュレーションの様子

今後の取り組み

- ・自主防災組織と連携した避難訓練の実施
- ・拠点避難所の環境整備

①. 災害に強いみどり市

◎治水雨水対策

対策の目的

- ・頻発する異常気象、大型台風の脅威に対する備え
- ・道路、住宅地、農地の浸水被害の抑止
- ・山間地の土砂流出対策

市の取り組み状況

笠懸町・・・雨水の排出先の確保を図るため調整池の整備など

大間々町・・・住宅地や道路の浸水被害を改善するための側溝の整備など

東町・・・山間部からの雨水や土砂等の流出を防ぐための排水路の整備など

笠懸町の調整池整備



笠懸町久宮地内

大間々町の側溝整備



大間々町大間々地内

東町の排水路整備



東町小夜戸地内

◎治水雨水対策

国や県取り組み状況

国土交通省・・・東町花輪地区の右岸市街地の保全等を図るための花輪床固群事業
群馬県・・・大間々町及び東町の沢からの土砂流出を防止するための砂防事業

渡良瀬川の花輪床固群事業(国土交通省)
完了予定: 令和4年度



砂防事業(群馬県)
完了予定: 令和2年度



対策の成果と今後の取り組み

- ・被害箇所の改善により、災害等の未然防止
- ・笠懸町阿左美地区の浸水対策

雨水管渠埋設工事 計画総延長L=1,543m R3目標L=1,278m(83%)

【公約3】

「環境立市・創生！」

産業・観光をもっと強く！

①. エネルギーの地産地消と森林・林業活性化による地域創生

◎エネルギーの地産地消

木質ペレットや木質バイオマス産業を育成・支援し、
地域資源である木材をエネルギーとして循環利用



木質ペレット

取り組み状況

- ・地域材加工センター(わたらせ森林組合)におけるペレット生産支援
- ・施設園芸農家、温浴施設(サンレイク草木)へのペレットボイラー導入支援
- ・木質ペレットストーブへの設置補助(上限10万円)
※補助実績 5台(平成29年度～令和元年度)
- ・木質ペレットストーブの庁舎へのモデル設置

➡ 実際に体感してもらい、設置の促進と地域森林資源の
活用の理解を深める

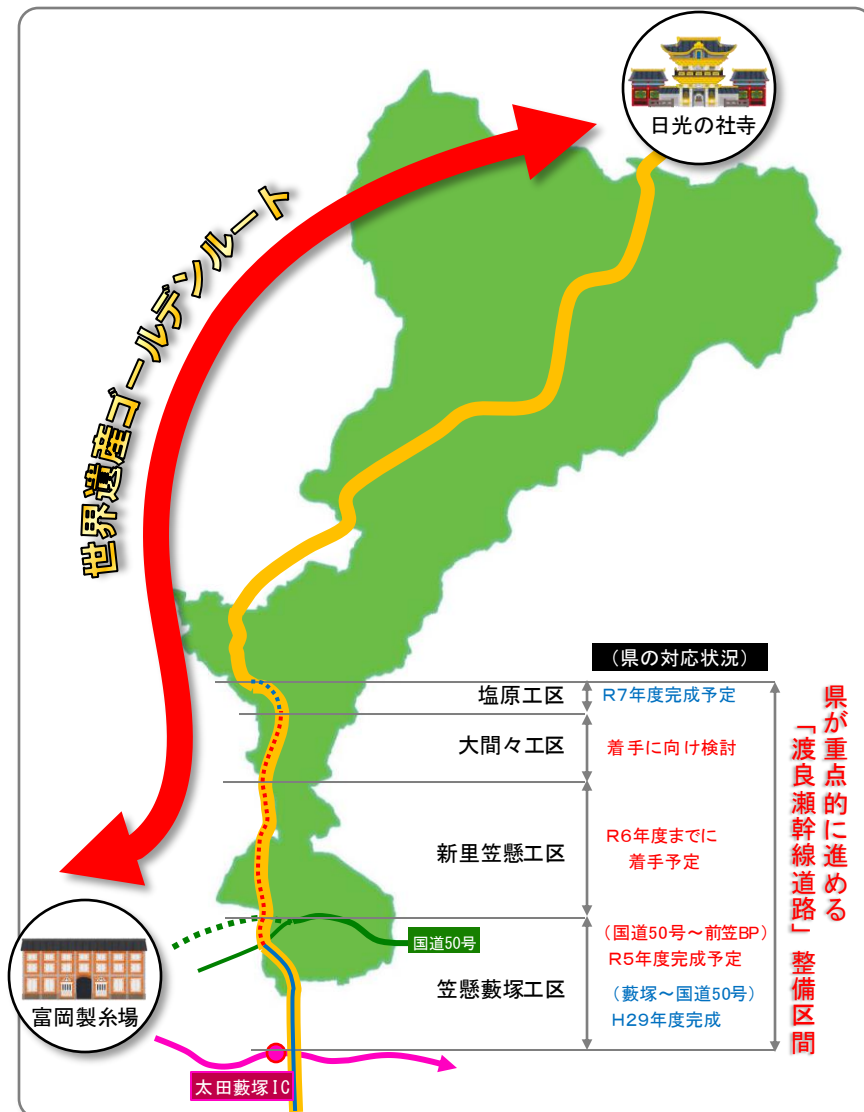


今後の取り組み

- ・木質バイオマス利用可能調査の実施
➡ 木質ボイラー等の導入に向けての検討
木質バイオマス収集手法・体制の構築などに活用

②. 幹線道路「渡良瀬軸」の整備と産業団地誘致による雇用創出

◎幹線道路「渡良瀬軸」



- ・渡良瀬軸は太田藪塚ICからみどり市東町に至る幹線道路で、全体の約2割が完成。
- ・災害時の物資輸送や緊急車両通行など「命の道」として、強靱な道路ネットワークを県が構築中。
- ・世界遺産『日光の社寺』と『富岡製糸場と絹産業遺産群』を結ぶゴールデンルートとして、広域観光を推進します。

「渡良瀬幹線道路」の整備促進を、近隣市と共に山本知事へ要望。

（令和2年11月／群馬県庁にて）



（H29年度の完成区間）



（未着手区間の市内渋滞状況）

②. 幹線道路「渡良瀬軸」の整備と産業団地誘致による雇用創出

◎産業団地整備事業



赤堀・東・笠懸
工業流通団地
(笠懸町久宮)
※既存

事業目的

立地環境の優位な地域に産業団地を整備

⇒企業の立地や投資を促す

<効果>

- ・市民の雇用機会が拡大
- ・地域経済の発展、税収の増加

取り組みの成果

組織体制の強化

- ・商工課内に「企業誘致推進室」設置(平成31年4月)

候補地の検討

- ・「庁内研究会」を組織し、関係部局で協議

企業ニーズ把握

- ・市内企業を訪問し情報交換、要望聴取
- ・「企業立地意向調査」の実施
市内外企業1,000社にアンケート(令和2年度)

【トップセールス】

- ・市長自ら市内企業を訪問し、企業ニーズを汲み上げ

基本方針と当面の目標

- ・群馬県(企業局)による事業化を要望

⇒「新規産業団地造成候補地」選定を目指す
(令和4年度)

※個別企業からの要望は、オーダーメイド型で対応

③. 利便性の高い公共交通の確保

◎阿左美駅周辺整備事業

阿左美駅舎：令和2年3月14日供用開始

駅舎・駅前広場



成果・今後の取り組み

【成果】

・駅前ロータリーの整備により、鉄道・バス・タクシー等の交通結節点機能の充実

【今後取り組み】

・特急りょうもう号の停車に向けての働きかけ

③. 利便性の高い公共交通の確保

◎市内バス運行の改善

電話でバス(笠懸・大間々町)



- ・市民ニーズ等を考慮し「バス停増設」
227箇所(平成30年4月) → 231箇所(令和2年4月)
 - ・「桐生厚生総合病院」にバス停設置(平成30年12月)
 - ・「新桐生駅」にバス停を設置予定(令和3年2月頃)
- ※公共交通相互乗り入れ(桐生市×みどり市)



東町路線バス(東町)

- 【現状】・観光客利用 ⇒ 多、住民利用 ⇒ 少
- ・地域住民(NPO)による「公共交通空白地有償運送」も運行
 - ・高齢化(免許返納)・公共施設再編等 ⇒ 公共交通の重要性増大



【今後の取組方針(予定)】

- ・東町の地域振興を総合的に検討する中で、東町に適した公共交通について併せて検討(住民意見反映)



④. みどり市の魅力再発掘で観光誘客

◎新たな観光素材の発掘

【参考】観光入込客数
 H29:約237万5千人
 H30:約241万4千人
 R01:約233万1千人

「みどり市・日光市連携案内誌」作成(H31.3)

みどり市を「日光の玄関口」として案内



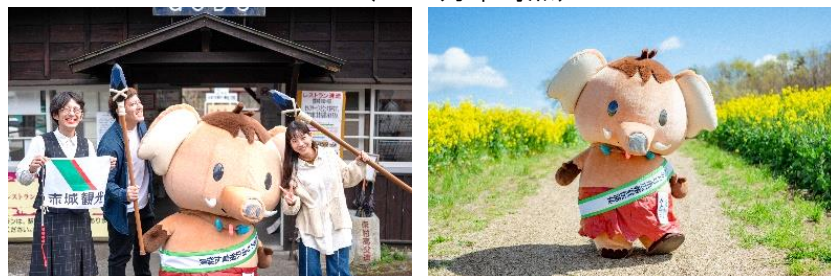
「みどり市モニターツアー」初開催(H31.4)

みどり市の魅力をPR



「エア花見動画」作成(R2.4)

新聞やネットニュースで紹介。再生回数2,664回
 (R2.9月末時点)



「チカバケーションinみどり」開催(R2.9～)

Withコロナ時代の新しい観光スタイル。宿泊料割引のほかわ鐵・
 上電フリー切符贈呈
 ※宿泊キャンペーン 利用実績＋予約者数の計:1,276人
 (11月16日時点)



○観光入込客数 R4目標 300万人 R1状況:233万1千人(78%)
 ○大間々駅前観光案内所利用者数 R4目標 2万5千人 R1状況:1万9,890人(80%)

④. みどり市の魅力再発掘で観光誘客

エアー花見動画



④. みどり市の魅力再発掘で観光誘客

◎みどり市マスコットキャラクターみどモス作成

課題

合併後も市の一体感や認知度が足りない



目的

市のマスコットキャラクターを作成して
市の一体感醸成・認知度向上を図る

■平成31年1月27日 みどモス誕生

市内の子どもたちの協力により、市マスコットキャラクターがみどモスに決定



■平成31年3月27日 広報宣伝部長就任

市内外のイベントに参加し、みどり市を積極的にPR



誕生日	1月27日
性別	男の子
年齢	35,000歳
性格	やんちゃだけど優しい
趣味	もの作り、探検
特技	まが玉作り、石器作り、古代料理作り

■成果及び今後の取り組み

【成果】

- ◎ゆるキャラ®グランプリ出場
(2020年…11位、2019年…14位)
- ◎SNSを活用した情報発信
(ツイッター、インスタグラム等)
- ◎みどモス関連商品の開発
(トートバッグ、マスク、缶バッジ等)

【今後の取り組み】

- ◎YouTube等による動画配信
- ◎みどモス関連商品の開発推進

○みどモス関連商品数(当初目標)
R3目標 20種類
R2.11現在 44種類(達成)



【公約4】

市民一人ひとりの輝きを大切に・・・

①.きめ細やかな教育・地域に即した教育環境の整備

◎GIGAスクール構想

「確かな学び」の確立～テレワーク社会でも活躍できる人材の育成～

全児童生徒へのタブレット端末1人1台(4,009台)、高速通信環境の整備

- ・学習活動の充実(日々の授業がかわる)
- ・家庭学習の充実(学び続けることができる)
- ・遠隔学習の充実(離れた人との交流ができる)



◎新設小学校 笠懸西小学校(仮称)

【事業の概要・目的】

- ・大規模校である笠懸小学校の学校規模適正化を図りゆとりのある教育環境を整備するために笠懸小学校を分離し、新たに笠懸西小学校(仮称)を建設
- ・笠懸西小学校(仮称)の開校は、令和4年4月を予定

ゆとりある教育環境の実現

令和4年度の児童数(見込み)

笠懸小・・・約440名<学区>笠懸町5区・6区・7区

笠懸西小・・・約450名<学区>笠懸町8区(西)9区・10区

笠懸小の大規模化を解消しこれまで以上に質の高い教育環境を実現

①. きめ細やかな教育・地域に即した教育環境の整備

◎新設小学校 イメージ図①



正門（敷地の南東角）

①. きめ細やかな教育・地域に即した教育環境の整備

◎新設小学校 イメージ図②



1年生教室(1階)

①.きめ細やかな教育・地域に即した教育環境の整備

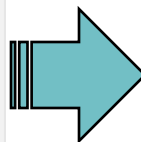
◎みどり市立あずま小中一貫教育校 “地域とともにある学校づくり”

～自ら未来を切り拓くたくましさを身につけた児童生徒の育成～

少人数学級のメリットを生かした学習

○義務教育9年間と卒業後の「夢」の実現に向け、個に応じたきめ細かなプログラム

- 人のためになる仕事に就きたい
- CAになりたい
- ものづくりをしたい
- 公務員になりたい など



- ◆学校と学校運営協議会が協働し、その子にあった学習環境を整備することができる。
- ◆成長に伴って変化する個人の「夢」の実現に柔軟に対応することができる。

○1年生から9年生までを見越して、一人一人を支援する体制

- ✓ デジタル教科書の活用で個に応じた中身の濃い授業の実施
- ✓ 小学校1年生から英語の授業を開始。英検Jr.を受検予定
- ✓ 「PLUS AZUMA」として発展的な学習の実施
- ✓ PCやロボット等活用しゲーム等を中心としたプログラミング教育の集会を実施
- ✓ 学校運営協議会の支援でPTA除草作業を実施

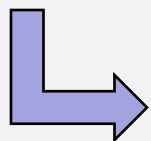


②. スポーツで市民の絆を(スポーツを「する」「観る」「支える」)

◎オリンピック・パラリンピックホストタウン事業とボッチャの推進

ホストタウン事業

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に「人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進」と「共生社会の実現に向けた取り組みを推進」



○香港のホストタウンとして登録（令和元年10月31日）

香港ボッチャチームを誘致

○共生社会ホストタウン登録(令和元年12月17日)



ボッチャの推進

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への気運上昇に向け、ボッチャ競技の普及推進を図る

○ボッチャ指導者講習会:(2回延べ90人)及びボッチャ体験会【ボッチャ楽校】(12回延べ170人)

○ボッチャボールセット:(16セット)及びボッチャ専用コートマット(2面)の購入

【今後の取り組み】

○みどり市ボッチャ協会の設立 ○市民大会の開催

○全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技の誘致



「ボッチャ」といえば、みどり市

②. スポーツで市民の絆を(スポーツを「する」「観る」「支える」)

【ボッチャとは】

ヨーロッパで生まれた、パラリンピック正式種目。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うスポーツ

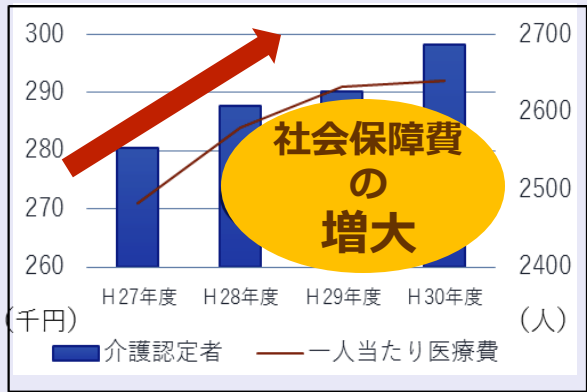


②. スポーツで市民の絆を(スポーツを「する」「観る」「支える」)

◎健康増進ウォーキング事業(みどり市元気プロジェクト)

【課題】

- 生活習慣病を保有している人が多い
- 社会保障費の増大



【対策状況】

平成29年度から、を用いた活動量計
ウォーキング事業を開始

現在の参加者

約 **536** 人

歩いて健康に！合言葉は『あるくまちみどり』

【今後の取り組み】

「あるくまちみどり」を目指して

○市民へのPR

健康効果が
見える！

健康ポイントが
うれしい！

仲間と
一緒に！

歩くことが
楽しい

歩く人が増える



医療費の削減



健康寿命の延伸

安心安全なまち
賑わいのあるまち

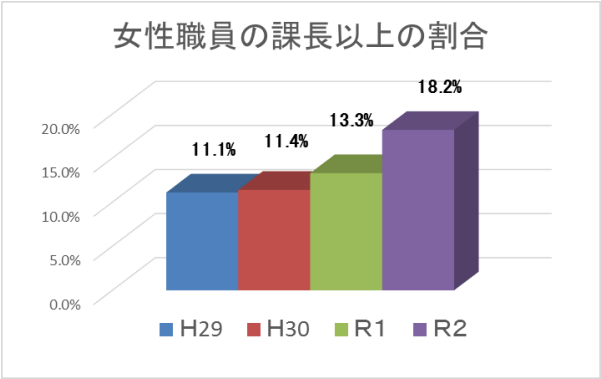
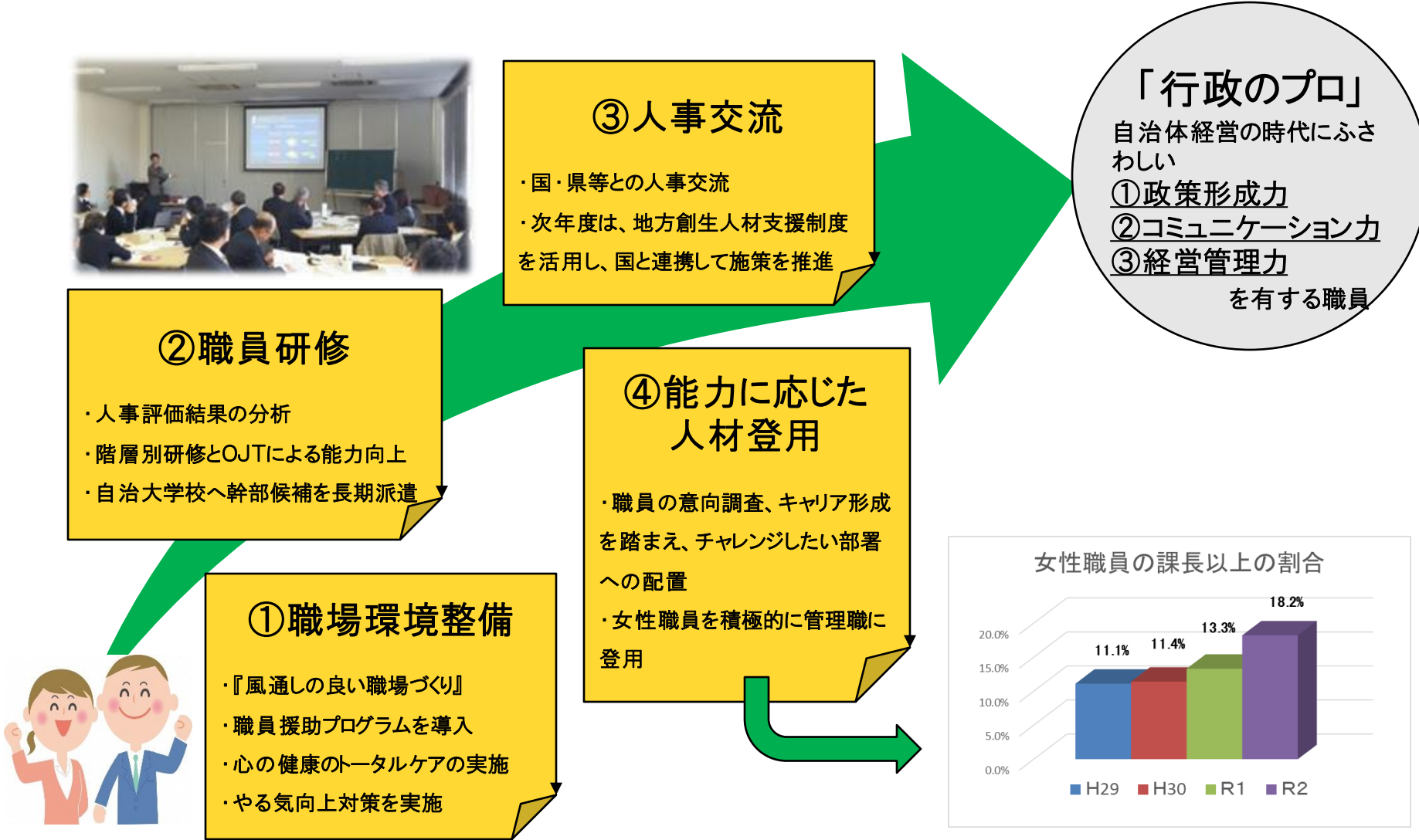


人も地域も元気な「まち」づくり

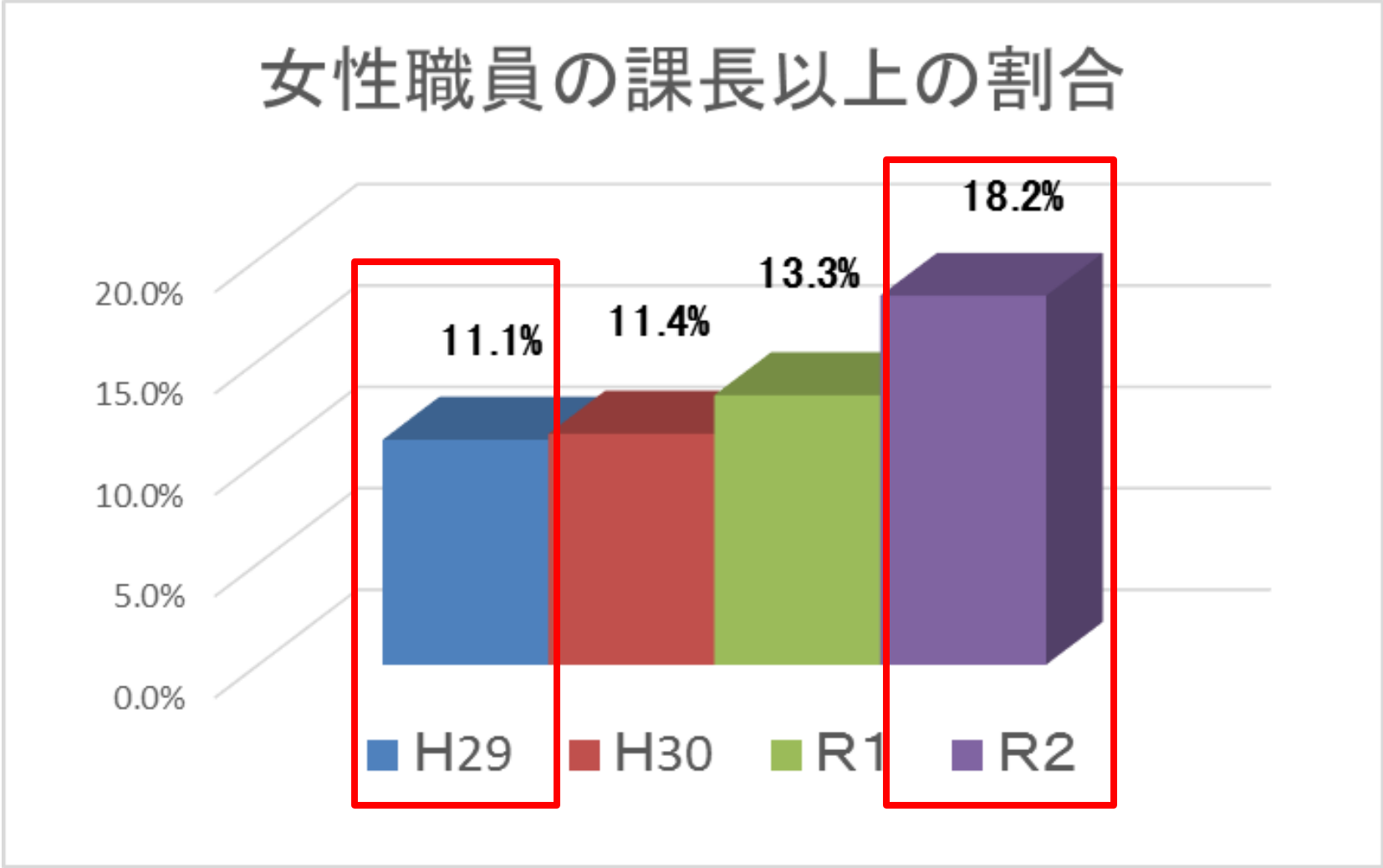
【公約5】

市民のために、がんばる市役所・効率行政

①. 職員が能力を発揮できる市政。「行政のプロ」育成
②. 職員の意識改革と女性登用を含めた人材育成



②. 職員の意識改革と女性登用を含めた人材育成



③. 効率的な行財政運営、広域市との連携推進

◎公共施設等総合管理計画事業

評価結果のまとめ

施設類型委員会	施設数	施設の方向性					
		継続利用	用途変更	機能移転	統合	廃止	その他
市民文化系施設	31	2	0	0	0	0	29
社会教育系	28	23	1	0	0	3	1
スポーツ・レクリエーション系施設	92	80	0	1	0	10	1
産業系施設	7	3	0	0	0	3	1
学校教育系施設	76	66	1	0	4	4	1
子育て支援系施設	16	10	3	0	2	1	0
保健福祉系施設	21	6	1	0	0	3	11
医療系施設	2	2	0	0	0	0	0
行政系施設	36	18	2	0	2	2	12
公園	16	9	0	0	0	7	0
その他	86	53	1	0	0	31	1
合計	411	272	9	1	8	64	57

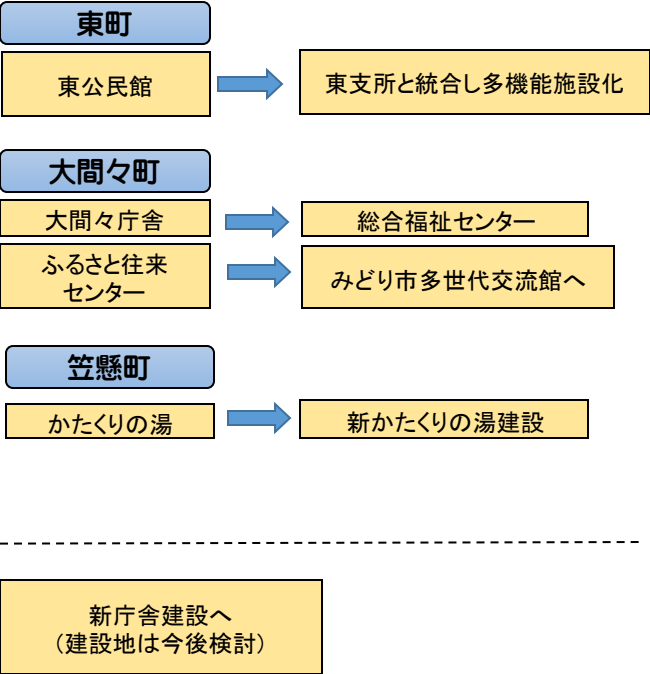
※市営住宅は「みどり市市営住宅長寿命化計画（改定版）」にて別途計画を策定しています。
※「みどり市公共施設等総合管理計画」上の施設数617から、別途策定済の市営住宅対象施設数194施設や既に取り壊しなどによる12施設があるため施設数は411施設となっています。

約3分の2の施設が「継続利用」となっています。

約3分の1の施設が「用途変更」や「廃止」など、見直しを行う施設となっています。



主な施設の再編イメージ



年平均更新投資費用：37億円 → 27.4億円へ（▲9.6億円）

※総務省公共施設等更新費用試算ソフトより算出

3. コロナ対策及びコロナ禍における「新しい生活様式」への対応

①. これまでの取り組み

◎コロナウイルス感染症対策

市民の皆さまの暮らしと地域経済を支援しました



市民の皆さまへの生活支援

子育て世帯の支援

児童1人につき10,000円の支援金を
国の給付金に上乗せして支給



みどモス応援券

市民1人につき5,000円分
の応援券を配布



医療・福祉従事者の支援

市民1人につき5,000円の応援金



布マスクの配布

福祉施設・教育施設・妊産婦
高齢者(75歳以上)等 合計27,530枚配布



地元事業者への 経営支援



感染症対策 協力金

小規模事業者1事業者
につき50,000円を支給

制度融資の拡充

中小企業向け小口融資の利率を
2.3%→1.7%へ緩和



①. これまでの取り組み

◎コロナウイルス感染症対策

市民の皆さまへ速やかに情報をお届けしました



コロナウイルス感染症情報の周知

・市民向けチラシ作成(全戸配布)

- 内 容
1. 新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式
 2. 家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～
 3. 不当な差別や偏見のない冷静な行動のお願い

・防災行政無線による放送

- 内 容
1. 新型コロナウイルス感染拡大防止の協力依頼
 2. 警戒度引き上げに伴う注意喚起

・ホームページ等

内 容 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供

- | | |
|-------------------|----------|
| ①新型コロナウイルス感染症について | ④市長メッセージ |
| ②市内の感染症患者発生状況 | ⑤市の取り組み |
| ③関係部署からのお知らせ | |



『コロナ対策』と『新しい生活様式』に
関する周知と意識啓発

②. 今後の取り組み

◎デジタル化の推進

推進イメージ



市民の利便性向上



各種証明書コンビニ交付
令和3年4月



マイナンバーカード
の普及活動

行政事務の効率化

電子図書館の導入
令和3年3月

Wi-Fi環境の整備
随 時

行政手続きの
電子申請化

市税等の
キャッシュレス納付

デジタル弱者への対応



申請窓口の設置
(マイナンバーカードの普及促進)



高齢者サポート
講習会等の開催 など

②. 今後の取り組み

◎デジタル化の推進

各種証明書コンビニ交付

- ・マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニで各種証明書を交付(令和3年4月から実施予定)

【交付予定】

- ・住民票の写し
- ・印鑑登録証明書
- ・戸籍謄本(抄本)
- ・戸籍の附票
- ・所得証明書
- ・課税証明書
- ・非課税証明書
- ・所得課税証明書 など

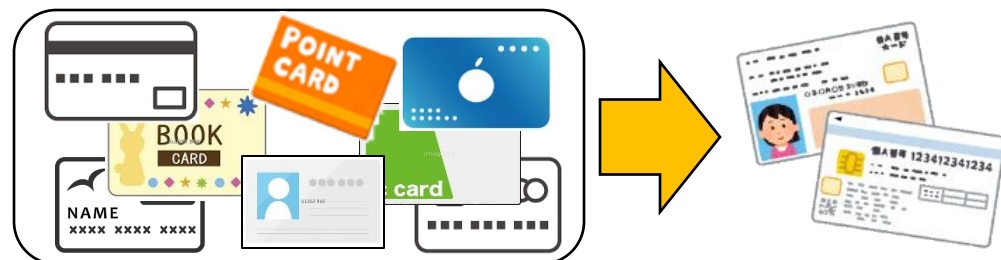


マイナンバーカードの普及促進(カード共通化)

- ・マイナンバーカードの普及率が課題(令和2年11月末現在16.6%)
- ・マイナンバーカード保有のメリットとして「カードの共通化」を推進
- ・マイナンバーカードを図書館利用カードとして使用開始(令和3年3月頃開始予定)

【国の方針(予定)】

- ・健康保険証との共通化(令和3年3月)
- ・運転免許証との共通化(令和6年度)



協働によるまちづくり

1. 市民の皆さまの声を聴き
2. 市民目線での行政運営
3. 行財政改革による財政健全化
4. 時代を見据えた「未来への投資」

全国に誇れる、みどり市に！